


教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
1【いきる】 2【かかわる】	⑤【やり抜く強さ】・・・救済活動 ⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 ⑫【自分と地域社会】 ⑬【地域作り】	総合的な学習 の時間
<p>【題材】 1 「職業選択講座」(1・2年生) 2 「ふるさと再発見学習」(3年生)</p> <p>【対象】 1 1・2年生の生徒278名 2 3年生の生徒142名</p> <p>【実践の概要・詳細】</p>		
<p>復興教育・総合的な学習の時間の流れ・学年ごとの指導構想</p> <p>第1学年テーマ「地域で生き方に触れる」</p> <p>1 職業講座(1・2年生で合同開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「働くことの目的と意義を考えよう」 ～ 地域の人々から講座を通して学ぼう ～ ○ 内容： 地域で働く方を講師とし、8講座を開設する。 <p>【復興教育】地域の方で、復興に携わった人を招聘し、「いきる、かかわる、そなえる」に触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前時数(期間)： 10時間(6月～7月) ○ 実施時期： 7月上旬 5・6校時 ○ 事後時数(期間)： 5時間(7月) ○ 発表の実施日・形態： 期末面談期間中にA4個人新聞を掲示 ○ 連携機関 ①ジョブカフェいわて ②滝沢市いきいき人材バンク ③滝沢市ふれあいまちづくり出前講座 <p>2 (略)</p> <p>3 郷土滝沢の産業・歴史・文化に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「地域に学び、将来を考えよう」 ○ 内容： 滝沢市いきいき人材バンク生涯学習ガイド(5月中旬発行予定)を活用し、学年教師の希望をもとにすすめ、できるだけ体験的作業的な講座の開設を目指す。 <p>【復興教育】地域の方で、復興に携わった人を招聘し、「いきる、かかわる、そなえる」に触れる。</p>		
<p>第2学年テーマ「比べることで生き方を見つめる」</p> <p>1 職業講座(1・2年生で合同開催)</p> <p>2 滝沢地域(盛岡地区含む)での職場体験(三日間連続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「働くことの目的と意義を、職場体験を通して学ぼう」 <p>3 (略)</p> <p>4 東京での訪問・見学学習の事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「働くことの目的と意義を考えよう」～東京での訪問・見学の事前学習を通して学ぼう～ 		
<p>第3学年テーマ「郷土を生きる～ふるさと再発見～」</p> <p>1 東京での訪問・見学学習のための調査学習(遠くを見つめてみよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「自分の生き方考えよう」 ～ 東京の良さを訪問・「見学学習を通して学ぼう ～ <p>2 ふるさと再発見学習(足下を見つめ直してみよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ「自分の生き方考えよう」 ～ 体験・ボランティア・学習等の活動を通して、自分に出来ることを考え、また郷土の良さや頑張りを見つめ直そう ～ ○ 内容例： さんさの研究、幼稚園、福祉バンク、・・・ <p>【復興教育】地域の方で、復興に携わった人をできるだけ訪問し交流する。</p>		

【授業の展開】

① 職業講座

職業講座（1・2年合同）実施計画

- 1 テーマ 「働くことの目的と意義を考えよう」～地域の人々から講座を通して学ぼう～
- 2 目的 講師の先生の職業観・人生観（生き方や生きがい）に触れ、働くことの目的や意義を考えながら、自己の生き方や進路選択指針の一助とさせ、生きる力を育てる。
- 3 日時 平成26年7月14日（月）5、6校時
- 4 講師 全大会 松本哲也 復興支援関係の講師（支援者、被災者等）

1年1組会場	盛岡信用金庫	関口 正博 様
1年2組会場	グループジャ監督	鳴尾 直軌 様
1年3組会場	盛岡ヘアメイク	村上 愛子 様
1年4組会場	保育士（元村保育園）	小島 生子 様
2年1組会場	白衛隊	菅野 康弘 様
2年2組会場	アナウンサー	高橋 美佳 様
2年3組会場	イラストレーター	田鎖 徹 様
視聴覚室会場	ミュージシャン	松本 哲也 様
- 5 日程
 - (1)開会行事（13：40～13：50）
 - 次 第
 - ①開会の言葉（ ）
 - ②講師紹介 （校長先生）
 - ③生徒代表挨拶 （2学年委員長）
 - ④連絡
 - ⑥閉会の言葉（ ）
 - 【移動】：生徒は選択した講座の教室に入る。運営教師は講師先生を会場に案内する。
 - (2)講座（14：00～14：40）各教室＋視聴覚室
 - 1学年運営者：〈1組〉高際 〈2組〉大森 〈3組〉高橋 〈4組〉小泉
 - 2学年運営者：〈1組〉高橋 〈2組〉本波 〈3組〉七戸 〈視聴覚室〉岩淵
 - 次 第
 - ①開講の言葉：これから職業講座を開講します。〇〇先生お願いします。
 - ②講座（40分）
 - ③お礼の言葉：生徒代表からお礼の言葉
 - ④閉講の言葉：以上で職業講座を開講します。講師の〇〇先生にもう一度、お礼の拍手を贈りましょう。生徒は体育館に移動してください。
 - (3)復興支援講演会（14：50～15：40）

【まとめ1】

職業講座では、働いている人の話聞き、働くことの生きがいや苦勞を学びます。その中で、働くときに必要な力、また、今の自分にできているところ、まだ足りないことなどを考え、自分を見つめなおす良い機会となりました。



～生徒の感想より～

- 私はいつも、まわりがやらないのに「なんで自分ばかり」と思っていたけど、講師の先生の話聞いて、自分がやることで、誰かのためになったり、誰かが嬉しい気持ちになってもらえるということを思いました。しっかりと周りの事を考えて、自分にできることを積極的に頑張ろうと思いました。
- 仕事で辞めたいと思っても、この仕事が好きだから頑張れると言っていた。私は、すぐに諦めてしまっていることが自分に足りていない事だと感じた。
- 何かを成し遂げるために、努力しようと思いました。自分のやりたいことをするには、何かを我慢しなきゃいけないし、我慢することは自分の力になると思うからです。

【まとめ2】

個別講座の前に「復興支援講座」を持ち、自ら被災地で体験したことを「生の声」と「映像」と「歌」で伝えてもらいながら生徒の交流を持った。**大震災の衝撃・希望・教訓を「引き継ぎ」ことの大切さを実感**したと共に、**自分達にできることを考えさせられた**講座となった。